



# 学校だより

墨田区立第三吾孺小学校

校長 川中子登志雄

令和2年6月1日

6月号



## 「新しい生活様式」の確立

校長 川中子登志雄

2月27日夕刻の安倍首相の発言を受け、急遽3月2日の午後から始まった休校・臨時休業は、先週発表された緊急事態宣言解除に伴い、5月いっぱい一旦終了することになりました。丸3ヶ月という、長い、長い休業となりました。この間、保護者の皆様には、学校からの様々なお願いにご協力いただき、誠にありがとうございました。

第三吾孺小学校では、いち早く、3月の第1週からメールを使ったウェブ上のアンケート調査にてお子さんの健康状況や家庭での様子を把握することに努めました。昨年度12月に初めて実施したウェブ上のアンケート調査では、回答率が52%という状況でしたが、3月6日に行った調査では92.5%の回答を瞬時に得ることができ、週明けの月曜日午前中には、電話連絡によりほぼ100%のご家庭の状況を把握することができました。合わせて、3月の自由登校日へのご意見も頂戴し、3月16日・17日に、区内唯一、学級ごとの登校日を実現することもできました。また、子供たちへのメッセージを届ける一つの手段として、3月6日から「校長室動画通信」の配信も始めました。

新年度になり、4月、緊急事態宣言発令と同時に、週ごとの家庭学習教材配布・回収もスタートしました。保護者の皆様には、毎週教材を取りに来ていただき、家庭での学習を見守っていただくという多大なるご協力をお願いいたしました。この取組は2ヶ月間続きました。また、5月11日からの3週間は、墨田区教育委員会を設定した登校可能日に、時間に合わせてお子さんを送り出させていただきました。1年生の保護者の皆様には、送り迎えまでお願いいたしました。

これら全てを、区内の学校に先駆けて実施することができましたのは、保護者の皆様のご協力の賜です。本当にありがとうございました。

さて、臨時休業は終わり、これから完全な通常登校に向けて、段階的に教育活動を再開していきます。新型コロナウイルス感染症のワクチンも治療薬もできていない今、緊急事態宣言が解除されても、感染の心配がなくなったわけではありません。しかし、私たちはウイルスとの共存の道を前進していかなければなりません。

新型コロナウイルスが感染拡大する前と後とでは、世界は大きく変わってしまいました。学校では、国・都・区の方針を元に、感染予防に努め、子供たちの命を守るために、「新しい生活様式」(裏面参照)の確立を目指してまいります。しかしながら、最終的にお子さんのことを守れるのは、保護者の皆さん以外にはございません。各ご家庭でもお子さんとよくお話をされ、共に予防に努めてまいりましょう。

しばらくはこの混乱も続き、保護者の皆様には、これまで以上のご協力をお願いしなければならないこともでてくるかと思えます。しかしながら、それぞれのご家庭のご都合もあり、一律に同じことができないのは当然のことです。家庭学習などについては、思い通りにならないことも多々あるでしょうが、「何としてもやらせなければ…」と考えるのではなく、できる範囲でご協力いただければ充分です。ご心配な事などございましたら、どんな些細なことでも気兼ねせず、担任までご相談ください。

### 6月・当面の予定

今週、来週と分散登校を実施する予定です。  
6月の登校についての詳細については、本日配布するお知らせをご覧ください。ホームページにも掲載しております。

### おめでとうございます！

4月から産休に入っております本校のS.A.先生に、5月14日、男の子が誕生しました。このコロナ騒ぎの中での出産となりましたが、母子ともに元気だそうです。

